

彙 報

本会記事

西南アジア研究会総会

1997年度総会は、先の会告のごとく、1997年12月13日午後2時から、京都大学文学部会議室において開催された。

小野山節会長の開会の挨拶に続いて、前川和也氏を議長に選出し、議事に入った。まず谷口淳一委員から、会誌発行状況、会員数、会計等の会務についての報告が行われ、ついで、勝藤猛監事から会計が適正に処理されている旨報告された。

また本年度は役員改選の年にあたり、会長に小野山節氏、副会長に間野英二氏がそれぞれ再選された。続いて小野山会長から、つぎの新役員表に掲げる編集委員および監事が委嘱された。

会 長	小野山節					
副 会 長	間野英二					
編 集 委 員	岩武昭男	久保一之	桑山正進	小林信彦	新谷英治	
	杉山正明	谷口淳一	前川和也	真下裕之	吉田和彦	
監 事	堀川 徹					

総会議事後、佛教大学教授近藤治氏に、「佛教大学所蔵ペルシア語本(恵谷文庫)について」と題してご講演いただき、最後に間野英二副会長の閉会の挨拶をもって終了した。

会費納入のお願い

本誌第47号発送時に1997年度会費(第47～48号相当分)および滞納金をご請求申し上げたところ、多くの方からご協力が得られました。誠に有難く存じ上げます。

しかしながら、いまだご入金いただいていない会員の方も、少なくありません。第47号発送時にご通知した、会費納入状況をご確認の上、早々にお支払いいただけるようお願い申し上げます。

ご投稿のお願い

より充実した誌面をお届けできますよう、会員の皆様の活発なご投稿をお待ち申し上げております。論文、研究ノートに限らず、研究動向その他、有益な各種情報もお寄せ下さいますようお願い申し上げます。なお、投稿規定は次頁以下に掲載してありますので、ご参照下さい。

『西南アジア研究』投稿規定

- I 投稿先 西南アジア研究会 〒606-01 京都市左京区吉田本町 京都大学文学部内
- II 原稿
- 1 B 5 版200字詰原稿用紙に横書きのこと。(原稿の全内容を入力したテキストファイルを添付することが望ましい。)
 - 2 論文は注を含め80枚でいと、研究ノート・研究動向は20枚～60枚とする。
 - 3 論文等すべて1号限りで完結するものとし、連載はしない。
 - 4 採否は編集委員会が決定し、手直しを求めることもある。
 - 5 原稿は返却しない。ただし図については、投稿時に申し入れがあれば返却する。
 - 6 別刷は30部を進呈する。ただし増刷はおこなわない。
 - 7 投稿者は本誌の体裁にしたがい、以下の書き方に統一すること。
 - a. 第1頁に表題・氏名、第2頁にその英訳、第3頁以下を本文とし、注・文献表を含めて通し頁をうつ。
 - b. 章はローマ数字、アラビア数字で示す。ただし章節の表題の有無は自由である。
 - c. 注は別紙おこしとし、本文の後ろにつける。注の書き方は次のとおりとする。
 - 1) この場合、帝王の叙任は……
どちらともいえない。
 - d. 頁のみの引用はしない。参考文献の場合は [Fussman 1978 : 94—98], 資料の場合は [HS : 25] として本文中に入れる。なお94—98, 25などは引用頁である。
 - e. dによって生じる文献表をつくり、別紙おこしで注のうしろにつける。筆者姓ABC順とし、欧文、和文、中文を混記する。中文は拼音による。書式は、下のIVのとおり。
 - f. 雑誌などの略号は本誌の表紙うらの方式にしたがうこと。単行本・雑誌は、欧文ではイタリック指示、和・中文では『 』に入れ、論文表題は括弧をつけず、裸のままにする。巻数はアラビア数字とし、号数は () に入れて、3 (1), 4 (3-4) [3, 4号合併号の場合] などとする。Vol., Partなどの表示はしない。なおロシア文字はイタリックを用いない。
 - 8 以上により、文字原稿は、表題・氏名、英文表題・氏名、本文・注、文献表より成る。
- III 図の原稿
- 1 本誌ではアート紙・折り込み図表は使わない。
 - 2 したがって版面12×18cmを考慮すること。
 - 3 図はそれぞれ別紙に作成し、通し番号をつけ、各図の天地を明確にすること。
 - 4 たとえば図3などが複数の写真などで構成されるときは、版面に入るよう考慮のうえ、出来上り図を作成すること。個々の図は、図1からの通し番号とする。
 - 5 図の説明文(キャプション)は図に記入せず、B 5 版200字詰原稿用紙に書き、他の文字原稿の末尾につけておくこと。
 - 6 本文原稿に図の挿入箇所を明示すること。原稿頁の右下に「図2挿入」などと朱書き、出来上りの面積(約5×3.8cm)、頁における位置(上下左右など)を指示すること。
 - 7 そのままで版下になる図をつくること。図中に文字を貼りこむ場合は、別途に経費を申しうけることがある。

IV 文献表の書き方

参考文献

IB :

DAI : (引用の一次史料の略号, および表紙裏記載以外の雑誌などの略号をアルファベット

GAR : 順に配列し, コロンに続いてフルタイトル表記)

Tr. Id. :

Ackemann, H. Ch. (1975) *Narrative Stone Reliefs from Gandhara in the Victoria and Albert Museum in London : Catalogue and Attempt at a Stylistic History*. Rome.

Allchin, F. R. (1968) Archaeology and the Date of Kanishka : The Taxila Evidence. In : Basham, A. L. (ed) *Papers on the Date of Kanishka*. Leiden, 4-34.

Bühler, G. (1894) The Bhattiprolu Inscriptions. *Epigraphia Indica* 2, 323-329.

Burgess, J. (1970) *The Buddhist Stupas of Amaravati and Jaggayyapeta in the Krishna District, Madras Presidency, Surveyed in 1882* (rep ed). Varanasi.

Errington, E. (1987) Takhal : The Nineteenth-Century Record of Two Lost Gandhara Sites. *BSOAS* 50 (2), 301-324.

Gelder, J. M. van (tr) (1963) *Mānava Śrautasūtra Belonging to the Maitrāyaṇī Saṃhitā* (1985 rep ed). Varanasi.

Kurita, I. (1988) *Gandharan Art I : The Buddha's Life Story. Ancient Buddhist Art Series I-II*. Tokyo.

Kuwayama, Sh. (1994) The Horizon of Begram III and Beyond : A Chronological Interpretation of the Evidence for Monuments in the Kapiśi-Kabul-Ghazni Region. *EW* 41 (1-4), 79-120.

Le Berre, M & D. Schlumberger (1964) Observations sur les remparts de Bactres. *Monuments pré-Islamique d'Afghanistan*. *MDAFA* 19, 61-105.

Marshall, J. (1914) Sha-ji-ki-Dheri. *Annual Report of the Director-General of Archaeology, Archaeological Survey of India 1, 1911-12*. Calcutta, 11.

Marshall, J. (1918) *A Guide to Taxila*. Calcutta.

Marshall, J. (1936) *A Guide to Taxila* (3rd ed). Delhi.

Marshall, J. (1951) *Taxila : An Illustrated Account Archaeological Excavations I-III*. Cambridge.

Marshall, J., A. Foucher & N. G. Majumdar (1940) *The Monument of Sāñchi I-III*. Delhi.

安藤志朗(1985) ティムール朝 Shāh Rukh 麾下の中核 amir 『東洋史研究』 43 (4), 4-11.

桑山正進(1987) 『大唐西域記』(訳注) (『大乘佛典』 中國篇 9) 林檎社.

佐藤 長(1979) 『チベット歴史地理研究』 岩波書店.

曾 問吾(野見山温訳)(1945) 『支那西域経緯史』 上 東光書林.

田原 正(1978) 六朝建築の設計規準 山本五郎(編) 『中國科學史研究』 平凡社, 39-66.